

平成 26 年度 資格スクール大栄

第 139 回日商簿記検定試験 模範解答

2 級

商 業 簿 記

第 1 問

	仕			訳						
	借	方	科 目	金	額	貸	方	科 目	金	額
1	建	設	仮 勘 定	10,000,000		当	座	預 金	10,000,000	
	建		物	29,200,000		建	設	仮 勘 定	30,000,000	
	修		繕 費	800,000						
2	長	期	前 払 費 用	2,700,000		普	通	預 金	2,700,000	
	広	告	宣 伝 費	75,000		長	期	前 払 費 用	75,000	
3	定	期	預 金	15,120,000		定	期	預 金	15,000,000	
	仮	払	法 人 税 等	30,000		受	取	利 息	150,000	
4	修	繕	引 当 金	5,000,000		普	通	預 金	6,000,000	
	修		繕 費	1,000,000						
5	租	税	公 課	2,400,000		未		払 金	3,500,000	
	土		地	1,100,000						

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 2 問

問 1	¥ 90,000	問 2	¥ 60,000	問 3	¥ 80,000
-----	----------	-----	----------	-----	----------

問 4

備 品									
日 付			摘 要	借 方	日 付			摘 要	貸 方
26	1	1	前 期 繰 越	680,000	26	1	1	諸 口	200,000
						12	31	次 期 繰 越	480,000
					680,000				680,000

備 品 減 価 償 却 累 計 額													
日 付			摘 要		借 方		日 付			摘 要		貸 方	
26	1	1	備 品		40,000		26	1	1	前 期 繰 越		90,000	
	12	31	次 期 繰 越		130,000			12	31	減 価 償 却 費		80,000	
					170,000							170,000	

問 5	¥ 190,000	問 6	¥ 130,000
-----	-----------	-----	-----------

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 3 問

貸 借 対 照 表

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

資 産 の 部	負 債 の 部
I 流 動 資 産	I 流 動 負 債
現 金 預 金 (8,348,000)	支 払 手 形 1,455,000
受 取 手 形 (2,130,000)	買 掛 金 1,537,000
貸 倒 引 当 金 (21,300) (2,108,700)	未 払 (消費税) (450,000)
売 掛 金 (2,670,000)	未 払 法 人 税 等 (300,000)
貸 倒 引 当 金 (26,700) (2,643,300)	未 払 費 用 (90,000)
(商 品) (3,610,000)	流動負債合計 (3,832,000)
未 収 金 (1,000,000)	II 固 定 負 債
前 払 費 用 (60,000)	長 期 借 入 金 9,000,000
未 収 収 益 (1,250)	退職給付引当金 (940,000)
流動資産合計 (17,771,250)	固定負債合計 (9,940,000)
II 固 定 資 産	負債の部合計 (13,772,000)
建 物 (20,000,000)	純 資 産 の 部
減価償却累計額 (9,450,000) (10,550,000)	資 本 金 10,000,000
備 品 (5,000,000)	利 益 準 備 金 1,500,000
減価償却累計額 (2,187,500) (2,812,500)	繰越利益剰余金 (5,861,750)
固定資産合計 (13,362,500)	純資産の部合計 (17,361,750)
資産の部合計 (31,133,750)	負債・純資産合計 (31,133,750)

区分式損益計算書に表示される利益

① 売上総利益	¥ 8,910,000
② 営業利益	¥ 4,198,750
③ 経常利益	¥ 3,570,000
④ 当期純利益	¥ 1,500,000

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

工 業 簿 記

第 4 問 (20 点)

問 1

予 算 部 門 別 配 賦 表

(単位:円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		第 1 製造部	第 2 製造部	修 繕 部	材料倉庫部	工場事務部
部 門 費	138,720,000	65,760,000	48,960,000	9,000,000	7,000,000	8,000,000
修 繕 部 費		6,000,000	3,000,000			
材料倉庫部費		4,000,000	3,000,000			
工場事務部費		4,160,000	3,840,000			
製造部門費	138,720,000	79,920,000	58,800,000			

第 1 製造部の予定配賦率 = 円/時間第 2 製造部の予定配賦率 = 円/時間

問 2

製造間接費(第 1 製造部)

(単位:円)

実 際 発 生 額	6,000,000	予 定 配 賦 額	<input type="text" value="(5,920,000)"/>
予 算 差 異	<input type="text" value="(660,000)"/>	操 業 度 差 異	<input type="text" value="(740,000)"/>
	<input type="text" value="(6,660,000)"/>		<input type="text" value="(6,660,000)"/>

 1 つにつき 2 点 合計 20 点
 (配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (20 点)

問 1

直接原価計算による損益計算書

(単位:円)

売 上 高	<input type="text" value="(1,120,000)"/>
変 動 売 上 原 価	<input type="text" value="(644,000)"/>
変 動 製 造 マー ジ ン	<input type="text" value="(476,000)"/>
変 動 販 売 費	<input type="text" value="(84,000)"/>
貢 献 利 益	<input type="text" value="(392,000)"/>
製 造 固 定 費	<input type="text" value="(168,000)"/>
固定販売費および一般管理費	<input type="text" value="(119,000)"/>
営 業 利 益	<input type="text" value="(105,000)"/>

問 2 当期の損益分岐点の売上高 = 円問 3 営業利益 140,000 円を達成するための売上高 = 円
 1 つにつき 2 点 合計 20 点
 (配点は、当学院の予想です)

第 1 問

$$2. \text{ 広告宣伝費} : \text{¥}2,700,000 \times \frac{1 \text{ ヲ月}}{36 \text{ ヲ月}} = \text{¥}75,000$$

3. 利息や配当金は、その支払者によって総額から源泉所得税が控除されて支払われます。そのため、利息や配当金の処理は手取額による処理と、総額処理の 2 通りがあり、当問題では所得税に関する記述があるため総額により仕訳を行います。

< 仕 訳 例 >

① 手取額による処理

(定 期 預 金)	120,000	(受 取 利 息)	120,000
-------------	---------	-------------	---------

② 総額による処理

(仮 払 法 人 税 等)	30,000	*2	(受 取 利 息)	150,000	*1
(定 期 預 金)	120,000				

$$*1 \quad \text{¥}15,000,000 \times 1\% = \text{¥}150,000$$

$$*2 \quad \text{¥}150,000 \times 20\% = \text{¥}30,000$$

第 2 問

平成 25 年度

25. 1. 1	(備 品 A)	200,000	(現 金)	200,000
	(備 品 B)	320,000	(現 金)	320,000
25. 10. 1	(備 品 C)	160,000	(現 金)	160,000
25. 12. 31	(減 価 償 却 費)	40,000	(備品 A 減価償却累計額)	40,000
	(減 価 償 却 費)	40,000	(備品 B 減価償却累計額)	40,000
	(減 価 償 却 費)	10,000	(備品 C 減価償却累計額)	10,000

$$*1 \quad \text{¥}200,000 \div 5 \text{ 年} = \text{¥}40,000$$

$$*2 \quad \text{¥}320,000 \div 8 \text{ 年} = \text{¥}40,000$$

$$*3 \quad \text{¥}160,000 \div 4 \text{ 年} \times \frac{3 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = \text{¥}10,000$$

$$\therefore \text{ 平成 25 年度減価償却費} : \text{¥}40,000 + \text{¥}40,000 + \text{¥}10,000 = \text{¥}90,000$$

平成 26 年度

26. 1. 1	(備品 A 減価償却累計額)	40,000	(備 品 A)	200,000
	(現 金)	100,000		
	(固 定 資 産 売 却 損)	60,000		
26. 12. 31	(減 価 償 却 費)	40,000	(備品 B 減価償却累計額)	40,000
	(減 価 償 却 費)	40,000	(備品 C 減価償却累計額)	40,000

$$*4 \quad \text{¥}160,000 \div 4 \text{ 年} = \text{¥}40,000$$

$$\therefore \text{ 平成 26 年度減価償却費} : \text{¥}40,000 + \text{¥}40,000 = \text{¥}80,000$$

平成 27 年度

27. 1. 1	(備品 B 減価償却累計額)	80,000	(備 品 B)	320,000
	(貯 蔵 品)	50,000		
	(固 定 資 産 除 却 損)	190,000		

問 6 定率法で行っていたとした場合の除却損の金額

25. 1. 1 (備 品 B)	320,000	(現 金)	320,000
25. 12. 31 (減 価 償 却 費)	80,000	(備品B減価償却累計額)	80,000 ^{*5}
26. 12. 31 (減 価 償 却 費)	60,000	(備品B減価償却累計額)	60,000 ^{*6}
27. 1. 1 (備品B減価償却累計額)	140,000	(備 品 B)	320,000
(貯 蔵 品)	50,000		
(固 定 資 産 除 却 損)	130,000		

*5 $¥320,000 \times 25\% = ¥80,000$ *6 $(¥320,000 - ¥80,000) \times 25\% = ¥60,000$

第3問

[資料2]

1. 約束手形について

(現 金 預 金)	400,000	(受 取 手 形)	400,000
-------------	---------	-------------	---------

2. 火災損失について

(未 収 金)	1,000,000	(火 災 損 失)	1,000,000
-----------	-----------	-------------	-----------

[資料3]

1. 売上原価の算定について

(仕 入)	3,700,000 ^{*1}	(繰 越 商 品)	3,700,000
(繰 越 商 品)	4,000,000 ^{*2}	(仕 入)	4,000,000
(棚 卸 減 耗 損)	150,000	(繰 越 商 品)	390,000
(商 品 評 価 損)	240,000		
(仕 入)	390,000	(棚 卸 減 耗 損)	150,000
		(商 品 評 価 損)	240,000

売上原価の算定仕訳は「仕入」勘定や「売上原価」勘定を使用する方法がありますが、いずれの場合も財務諸表上の表示は同じです。

*1 期首商品棚卸高：決算整理前「繰越商品」勘定より

*2 期末商品帳簿棚卸高：問題文より

2. 貸倒引当金の設定について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	14,000 [*]	(貸 倒 引 当 金)	14,000
-------------------	---------------------	---------------	--------

決算整理後の貸倒引当金残高が貸倒見積高(受取手形及び売掛金期末残高の1%)になるように、決算整理前残高との差額を繰り入れます。

* 受取手形： $¥2,530,000 - ¥400,000 = ¥2,130,000$ 売 掛 金： $¥2,670,000$

$$\therefore (¥2,130,000 + ¥2,670,000) \times 1\% - \text{前 T/B 貸倒引当金} = ¥14,000$$

3. 減価償却について

(減 価 償 却 費)	1,387,500	(建物減価償却累計額)	450,000 *1
		(備品減価償却累計額)	937,500 *2

*1 建物取得原価を x とおくと

$$x - 0.9x \times \frac{20\text{年}}{40\text{年}} = \text{¥}11,000,000$$

$$x = \text{¥}20,000,000$$

$$\therefore 20,000,000 \times 0.9 \div 40\text{年} = \text{¥}450,000$$

$$B/S \text{ 上の減価償却累計額 : } (\text{¥}20,000,000 - \text{¥}11,000,000) + \text{¥}450,000 = \text{¥}9,450,000$$

*2 備品取得原価を x とおくと

$$x - 0.25x = \text{¥}3,750,000$$

$$x = \text{¥}5,000,000$$

$$\therefore 3,750,000 \times 0.25 = \text{¥}937,500$$

$$B/S \text{ 上の減価償却累計額 : } (\text{¥}5,000,000 - \text{¥}3,750,000) + \text{¥}937,500 = \text{¥}2,187,500$$

4. 消費税について

(仮 受 消 費 税)	2,100,000	(仮 払 消 費 税)	1,650,000
		(未 払 消 費 税)	450,000

5. 退職給付について

(退 職 給 付 費 用)	300,000	(退 職 給 付 引 当 金)	300,000
-----------------	---------	-------------------	---------

6. 受取利息について

(未 収 収 益)	1,250 *	(受 取 利 息)	1,250
-------------	---------	-------------	-------

$$* \text{ ¥}1,000,000 \times 0.3\% \times \frac{5\text{ヵ月}}{12\text{ヵ月}} = \text{¥}1,250$$

7. 支払利息について

(支 払 利 息)	90,000 *	(未 払 費 用)	90,000
-------------	----------	-------------	--------

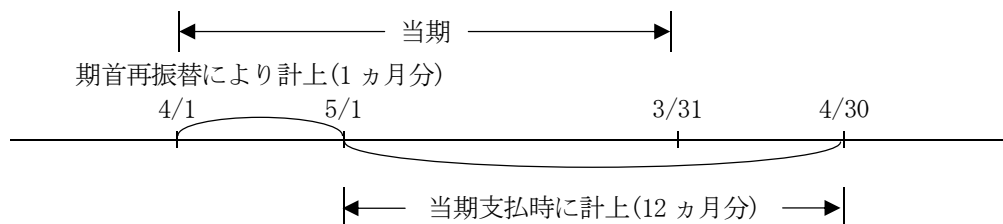
$$* \text{ ¥}9,000,000 \times 4\% \times \frac{3\text{ヵ月}}{12\text{ヵ月}} = \text{¥}90,000$$

8. 支払地代について

(前 払 費 用)	60,000 *	(支 払 地 代)	60,000
-------------	----------	-------------	--------

支払地代¥780,000 は、期首再振替により計上した 1 ヲ月分(4/1~4/30 分)と 5/1 に支払った向こう 12 ヲ月分のあわせて 13 ヲ月分の金額を表しています。

$$* \text{ ¥}780,000 \times \frac{1\text{ヵ月}}{13\text{ヵ月}} = \text{¥}60,000 \text{ (平成 26 年 4/1 から 4/30 までの 1 ヲ月分を繰延べます)}$$



4/1 の処理 :	(支 払 地 代)	60,000	(前 払 費 用)	60,000
5/1 の処理 :	(支 払 地 代)	720,000	(現 金 預 金)	720,000

9. 法人税等について

(法 人 税 等)	500,000 *	(仮 払 法 人 税 等)	200,000
		(未 払 法 人 税 等)	300,000

* 税引前当期純利益： $\yen 500,000 \div 25\% = \yen 2,000,000$

< 損 益 計 算 書 >

売 上	42,000,000
仕 入	33,090,000
売 上 総 利 益	8,910,000
給 料	1,920,000
通 信 費	369,750
支 払 地 代	720,000
貸倒引当金繰入	14,000
減 価 償 却 費	1,387,500
退 職 給 付 費 用	300,000
営 業 利 益	4,198,750
受 取 利 息	1,250
支 払 利 息	270,000
有価証券売却損	360,000
経 常 利 益	3,570,000
固定資産売却益	430,000
火 災 損 失	2,000,000
税引前当期純利益	2,000,000
法 人 税 等	500,000
当 期 純 利 益	1,500,000

第 4 問

問 1 補助部門費予算配賦額

修繕部費

$$\text{第 1 製造部} : 9,000,000 \text{ 円} \times \frac{60\text{回}}{60\text{回} + 30\text{回}} = 6,000,000 \text{ 円}$$

$$\text{第 2 製造部} : 9,000,000 \text{ 円} \times \frac{30\text{回}}{60\text{回} + 30\text{回}} = 3,000,000 \text{ 円}$$

材料倉庫部費

$$\text{第 1 製造部} : 7,000,000 \text{ 円} \times \frac{20,000\text{千円}}{20,000\text{千円} + 15,000\text{千円}} = 4,000,000 \text{ 円}$$

$$\text{第 2 製造部} : 7,000,000 \text{ 円} \times \frac{15,000\text{千円}}{20,000\text{千円} + 15,000\text{千円}} = 3,000,000 \text{ 円}$$

工場事務部費

$$\text{第 1 製造部} : 8,000,000 \text{ 円} \times \frac{52\text{名}}{52\text{名} + 48\text{名}} = 4,160,000 \text{ 円}$$

$$\text{第 2 製造部} : 8,000,000 \text{ 円} \times \frac{48\text{名}}{52\text{名} + 48\text{名}} = 3,840,000 \text{ 円}$$

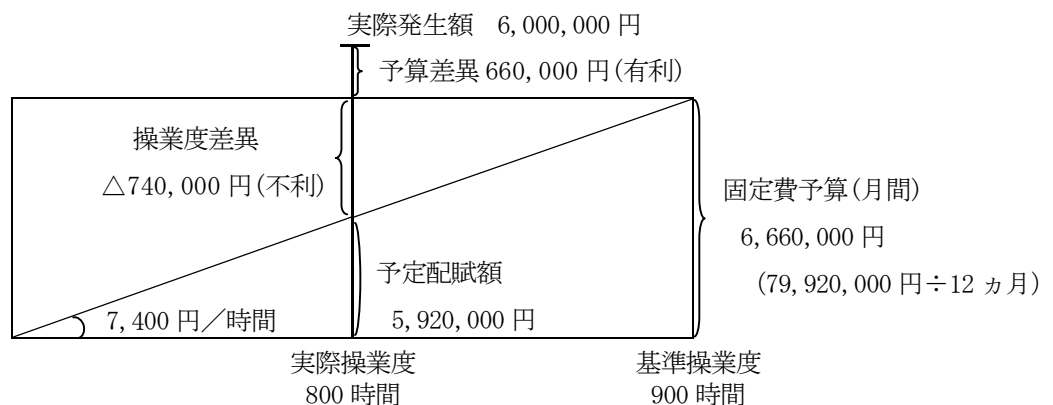
第 1 製造部予算額合計 : 65,760,000 円 + 6,000,000 円 + 4,000,000 円 + 4,160,000 円 = 79,920,000 円

$$\text{予定配賦率} : \frac{79,920,000\text{円}}{10,800\text{時間}} = 7,400 \text{ 円/時間}$$

第 2 製造部予算額合計 : 48,960,000 円 + 3,000,000 円 + 3,000,000 円 + 3,840,000 円 = 58,800,000 円

$$\text{予定配賦率} : \frac{58,800,000\text{円}}{12,000\text{時間}} = 4,900 \text{ 円/時間}$$

(2) 製造間接費予定配賦額 : 7,400 円/時間 × 800 時間 = 5,920,000 円



総 差 異 : 5,920,000 円 - 6,000,000 円 = △80,000 円(不利・借方差異)

予 算 差 異 : 6,660,000 円 - 6,000,000 円 = 660,000 円(有利・貸方差異)

作業度差異 : (800 時間 - 900 時間) × @7,400 円/時間 = △740,000 円(不利・借方差異)

第 5 問

問 1

変動売上原価：812,000 円－168,000 円＝644,000 円

変動販売費：203,000 円－24,000 円－95,000 円＝84,000 円

製造固定費：168,000 円

固定販売費および一般管理費：24,000 円＋95,000 円＝119,000 円

問 2 貢献利益率： $\frac{392,000\text{円}}{1,120,000\text{円}} = 0.35$

損益分岐点の売上高：固定費 287,000 円÷0.35＝820,000 円

問 3 目標営業利益 140,000 円を達成する売上高：(営業利益 140,000 円＋固定費 287,000 円)÷0.35＝1,220,000 円